

調査・研修報告書（議員用）

報告者：山田聖三

実施場所：東京都 内閣府、八王子市きよびー、多摩市議会	実施日：平成29年7月24日 ～平成29年7月26日
■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など） <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本版B I Dを含むエリアマネジメントの推進方策について 2. 一般介護予防サロン活動支援事業の取り組みについて 3. 常任委員会のネット中継及び議会改革の取り組みについて 	
■参考とすべき事項 <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本版B I Dを含むエリアマネジメントの推進方策について、内閣府地方創生推進事務局担当者より、説明を受け意見交換を行った。 B I Dとは、地理的に区画された地区で、不動産所有者や事業者から徴収される負担金により、その地区の維持管理、開発、プロモーションを行うもので、B I Dが提供するサービスは、通り・歩道・公園の維持管理、治安の改善、マーケティング、施設改善、その他の開発である。カナダやアメリカをはじめとし、国際的に普及した制度である。 日本においては、「日本版B I Dを含むエリアマネジメントの推進方策検討会」の検討結果を平成28年6月30日中間とりまとめとして公表しているが、エリアマネジメント活動の認知度がまだ低く、国としてもエリアマネジメント活動における効果の「見える化」など、具体化に向けた検討を進めている段階である。 2. 一般介護予防サロン活動支援事業の取り組みについては、八王子市福祉部高齢者いきいき課の担当者から制度について、またボランティア団体「きよびー」の役員からは実際に活動している内容について、説明を受け意見交換を行った。 「きよびー」は、サロン活動を軸とした各種地域サービス、食の提供、日常生活の支援の3つを軸に地域の居場所として大きな交流の場となっている。 これは、地域包括ケアシステムにおける生活支援・介護予防の部門を担っており、国が示す将来の地域活動の姿に近づいているものである。 なお、活動はすべてボランティアで行われており、スタッフとして参加される人も、サービスを受けられる人も自分の居場所、自分の役割を楽しんでおられ、すてきな笑顔の皆さんでした。 3. 常任委員会のネット中継及び議会改革の取り組みについて、多摩市議会議長、議会運営委員長及び議会事務局職員から説明を受け意見交換を行った。 多摩市議会では、「もっとよく見え」、「わかりやすく」、「市民が参画できる議会」をめざし、議会改革を推進している。議場でのインターネット配信はもちろんのこと、平成26年12月からは、委員会室でのインターネット配信を行っている。会議を実況中継することにより、議会の公平性及び透明性を確保し、市民に開かれた議会運営に努めている。委員会の配信方法は、固定カメラにより撮影し、無料動画配信サービスを利用している。初期経費は、ビデオカメラ等の機器代と取付費用のみで多額の経費はかかっていない。 	

■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など）

1. エリアマネジメント活動の考え方は、国においても始まったばかりであるが、地域のことは、地域で解決して行くということであり、本市における自治振興区活動の充実に向けた取り組みにつながる考えのひとつではないか。
2. ボランティア団体「きよぴー」の活動は、地域包括ケアシステムの理想の姿に近づいており、本市の地域包括ケアシステムの構築に向けて参考となるものである。
3. インターネットによる議会映像配信については、議会の公平性及び透明性を確保し、市民に開かれた議会運営を行う上でも多摩市議会の事例を参考にしながら、導入に向けて検討する必要がある。